

東京ヤクルトスワローズ 野球教室実施要綱



東京ヤクルトスワローズ後援会事務局

1. 役割分担

1. 受付係

参加者の出欠を確認するとともに、ビブス・スワローズキャップを配付する

2. 撮影係

各チームと東京ヤクルトスワローズ選手との記念写真やプレー写真を撮影する

3. グラウンド準備係

(1) 走塁練習、守備（投球）練習、打撃練習等が行えるよう準備する

(2) 「東京ヤクルトスワローズ野球教室」の横断幕を掲げる

4. 誘導係

野球教室参加者や保護者・見学者を適切な場所へ誘導する

5. 進行係

開校式、記念撮影および閉校式を進行する

6. アテンド係

東京ヤクルトスワローズ選手のアテンドをする

2. 進行内容

1. 開校式

(1) 主催者挨拶

(2) 東京ヤクルトスワローズ選手紹介

2. 記念撮影

3. 野球教室

※指導内容は東京ヤクルトスワローズ選手に一任する

4. 抽選会

5. 閉校式

(1) 参加者代表挨拶

(2) 東京ヤクルトスワローズ選手挨拶

3. 実施概要

1. 会場手配

晴天時、雨天時の会場を手配する

2. 参加対象

野球チーム（部）に所属する小学生（4年生～6年生）又は中学生

※1会場内で小学生と中学生を混合するのは不可とする。

3. 募集人数

最大150名

4. 野球教室時間

1会場あたり2時間から3時間

5. 参加者の服装等

- (1) 運動ができる服装であれば、特にユニフォーム着用にはこだわらない
- (2) 参加者は「野球教室ビブス」、「スワローズキャップ」を着用する
- (3) 練習内容により使い分けるため、運動靴とスパイクを準備する
- (4) グラブ・バット等野球教室に必要な道具は各自（チーム）で準備する

6. 資材関係

- (1) 下記の資材を本部事務局が各会場の幹事会社へ送付する

- ①記念品：スワローズキャップ参加者分、
- ②抽選用景品：サイン用ボール36個・サイン用バット（本体：ブラック）6本
- ③当日使用資材：軟式又は硬式ボール6ダース

※野球教室当日にサイン用ボール、サイン用バットについては、参加選手にサインを記入するように依頼する

※上記以外の資材については、野球連盟等と連携し、各会場にて準備を進める

- (2) 横断幕・ビブスは、各支店で保管のものを使用する

7. 怪我および事故への対応

- (1) 救急薬品・AEDを手配する
 - (2) 看護師等の手配をする〔看護師等への謝礼は各幹事会社負担〕
 - (3) 後援会で傷害保険・賠償責任保険に加入しているので、参加者に傷害もしくは学校施設に損害が発生した場合は、必ずヤクルト本社総務部総務課（担当：吉田）に連絡する
- ※トラブル防止のため、補償内容は必ず関係者に事前に周知する

		保険金額	
傷害保険	死亡・後遺障害	250万円	
	入院日額	3,000円	
	通院日額	2,000円	
賠償責任保険	対人	5億円	1事故につき
	対物	100万円	
	受託物	50万円	

8. 参加者名簿の作成

- (1) 傷害保険の加入に必要なため、参加者名簿を作成し、本部事務局に提出する
- (2) チーム名、代表者の氏名・連絡先、参加者の氏名・学年を必ず記載する

9. 写真の提出

後援会報掲載用として野球教室の写真を3枚程度(※)と各写真に対するコメント(50字程度)を本部事務局に提出する

(※)「東京ヤクルトスワローズ野球教室」の横断幕、東京ヤクルトスワローズ選手および参加者が一緒に写っている写真を1枚～2枚提出する